

二十歳の誓い

僕は20年間育ってきた京都が、そして生まれ育った伏見桃山が大好きです。小学校の授業で京都の疎水や十石船の魅力といった地元をアピールできることを習ってから興味を持つようになりました。大学生になって地域活性化をテーマにした授業の一環で、地元で初めてできたルーマニア料理店がいかに地域の人たちに受け入れてもらえるようになるかをフィールドワークで取材しました。また、商店街のインド・ネパール料理店でもアルバイトをし、研究することになりました。実際に商店街やそこで働く人たちの中に入って感じたことは、自分たちの街を良くしたい、この街を好きになって欲しいという思いが強くあり、みんな仲が良く信頼関係があって、外からの人を特別視せず受け入れる雰囲気があるのです。まちの活性化で大切なのは、やさしくって、熱い思いを持った「人」なんだと思いました。

実は幼稚園から大学生活を通して悩んでいたことは、人間生活において、なぜ仲間を批判したり無視したり、攻撃するのだろうかということでした。その時その時の気分や感情にまかせてしまうのは相手や自分にとっても不快な気分が生まれてしまいます。和解することもできるし、お互い気分良く生きていこうじゃないか。いつもイザコザを見聞きするたびにそう思いました。簡単に気持ちをぶちまけて済ませてしまうために、いつの間にか自分の今の気持ちを優先して、相手のこと、周りのことを思いやるという心を忘れてきたのかもしれない。そんなことを考えている時に出会った、地元の大人たちのやさしさや元気さは一種の衝撃でした。以来今まで以上にいろいろなイベントに積極的に足を運び、地元の宣伝活動や学校の活動にも一緒に参加させてもらっています。

10歳の小学生の時に、「2分の1成人式」に参加させてもらって、自分も半分成人したのだと感じました。さらに10年経って今こうして壇上に立って話しているのが信じられません。あの時は、大人になったら何でも自由に思い通りに出来るようになるから、早く大人になりたいと思う時もありました。でも20歳になって、これからどうしていくのか、まだはっきりとした答えを見つけられずにいます。ただ言えることは、みんなから「会いたい」と思われる人間に成長していきたいです。不平・不満・悪口をならべるより、相手の良いところを見つけ、広く深い人間関係を築ける人間になりたいです。

二十歳になった今、京都に生まれ育って本当に良かったと思っています。これからもっともっと勉強して、人間としての器も大きくして、いつの日か同じ思いの仲間たちと、大好きな地元京都の活性化、安心することができる平和な生活のために力を発揮することを、二十歳の誓いとさせていただきます。

平成27年1月12日 新成人代表 柿田 洋平